

報告：工学系研究科バイオエンジニアリング専攻博士1年 内田寛邦 (CMSI RA)

CMSI Students Seminar オーガナイザー兼司会 長田健介 (工学系研究科マテリアル工学専攻 CMSI 特任講師)

位高啓史 (医学系研究科臨床医工学部門 CMSI 特任准教授)

10月20日(金)、工学部4号館205セミナー室にてCMSI Student Seminarが15名程度の参加者を集め開催されました。本セミナーは、昨年7月より実施されているグローバルCOEプログラム「学融合に基づく医療システムイノベーション(CMSI)」(拠点リーダー：片岡一則 教授)の一貫で、医工薬融合における最先端研究の推進と同時に、研究者の国際的な発表能力向上を目指して企画されているものです。

今回のセミナーは、再生利用の足場材料に関する研究で世界的に評価されているDr. Nuno M Neves (University of Minho)を招待アドバイザーとして開催されました。セミナーは工学研究科の学生3件、医学系研究科の学生2件による計5件の英語による口頭発表が行われました。



Dr. Nuno と参加者



発表風景 (池田君)



発表風景 (勝田君)

今回のセミナーでは、発表者が発表を行ったあと、Dr. Nunoが、発表において気がつかれた点へ指摘され、さらに発表で使用したスライドの1枚、1枚についてデータの解釈や補足すべき点などの研究へのアドバイスをされました。また、聴衆とのアイコンタクトの重要性や、スライドの作成法などプレゼンテーション全般へのアドバイスを熱心にされました。各発表者は、今回の発表を通してデータの解釈からプレゼンテーションの心得までの充実した議論、そしてDr. Nuno、長田講師、位高准教授らによる研究方針へのアドバイスなどを通し、自身の研究内容全体への解釈を新たにすることができました。加えて、互いの先端研究の内容を認識・共有し合うことができ、今後の研究につながるものと

期待されます。さらに、英語での口頭発表経験のあまりない大学院生にとっては、国際学会での発表に向けた練習としても有意義なセミナーとなりました。

今後もCMSI Student Seminarは随時開催される予定です。新たに参加、発表される方々もこの機会を十分に生かして、国際的発信力の高く視野の広い先端研究者となることを期待します。最後になりますが、本セミナーの発表準備などでご尽力頂いた多くの方々に感謝を申し上げます。

Advisor, Dr Nuno M Neves Associate Professor ; University of Minho (Portugal) Seminar Chair ; Kensuke Osada, Keiji Itaka	
Presenter	Title
Hirokuni Uchida	Effect on cationic polymer-mediated gene transfer generated from difference of side chain
Sorato Ikeda	Disulfide cross-linked polyplex micelle gene carrier for long blood circulation
Akinori Kan	Screening of Chondrogenic Factors with a Real-Time Fluorescence-Monitoring Cell Line ATDC5-C2ER :Identification of Sorting Nexin 19 as a Novel Factor
Toshihiko Itaji	Islet cell transplantation to diabetic rats with new collagen gel
Takeshi Katsuda	Efficient Hepatic Differentiation of Mouse Embryonic Stem Cells by Regulating Culture Environmets